

新たな人材「アシスタントワーカー」

アシスタントワーカーとは？

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

1年間(全13回)の研修お疲れさまでした！

令和6年度から新しく本事業に取り組んだ全ての施設において、アシスタントワーカーの勤務が始まりました。

無資格・未経験の方でも安心してアシスタントワーカーとして働くことができるように、作成した業務マニュアル等も活用しながら、日々教育に取り組まれています。

そんな中、令和6年度最後の研修として、2月7日(金)に集合研修を実施しました。

集合研修では、1年間の取組みの振り返りとして、施設ごとに実践報告をおこない、アシスタントワーカーを新たに受け入れるための職場環境整備の取組みについて発表いただきました。

〈実践報告の内容(一部)〉

- ・以前からの課題である“洗濯物の配り間違い”の改善に向けた取組みを始めました！
- ・業務の流れを明確にして、どの職員が見てもその手順やプロセスが確認できる“業務チェックリスト”を作成しました！
- ・業務効率化のため、職員が使用する度に探していた“体温計”や“血圧計”の置き場所を決めたところ、毎回探す必要が無くなって負担が減りました！

このように、アシスタントワーカー導入事業は、新たな福祉人材の採用につながるだけでなく、日々の業務の課題や気になるところをお互いに意見交換し、共有していくことで、業務改善や職員の意識改革、職員育成につながり、これからのケアを変えていく可能性がある事業といえます。

今回取り組まれた3施設が、本事業での経験を活かして、福祉・介護人材がさらに輝く職場となり、参加された皆さまがますますご活躍されることを期待しています！

＼お疲れさまでした！／



最後には全員で記念撮影！
修了証書を受け取りました



令和6年度取組み施設ヘインタビュー

1年間事業に取り組んだ感想を教えてください！

介護職員の業務(マニュアル)を見直す機会になり、業務改善につながりました。
職員同士で話し合う機会も増え、関係性の向上や風通しが良くなりました。



▲特別養護老人ホーム ヴァンサンク東住吉
(左から小林さん、北口施設長、高橋さん)

取組みで得たもの(宝物)
①課題 ②仲間 ③達成感 ④褒められる喜び
研修に参加することで取り組むことの意味が分かります！ぜひ皆さんもチャレンジしてみてください！



▲障害者支援施設 エフォール(兎本さん)

アシスタントワーカーさんの受け入れ準備を行いながら、私たち自身の日々の業務改善やケアの見直しに繋がりました！
自分たちの仕事を振り返ることができて課題が見えて現在取り組み中です！



▲特別養護老人ホーム 藤ミレニアム(後藤さん)